



2023年10月31日

各 位

上場会社名 株式代表者 代表

株式会社三栄コーポレーション 代表取締役社長 水越雅己

(コード番号 8119)

問合せ先責任者 財務部長 岡崎克則 (TEL 03-3847-3500)

# 2024年3月期第2四半期業績予想と実績の差異および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年3月期第2四半期累計期間の業績について、2023年5月12日に公表した業績予想との差異が下記のとおり生じましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2024年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

# 1. 業績予想の修正について

(1) 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異(2023年4月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16, 000	△100	△10	△100	△41. 63
実績値(B)	17, 048	459	560	510	212. 31
増減額(B-A)	1, 048	559	570	610	
増減率(%)	6.6	_	_	_	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2023 年 3 月期第 2 四半期)	18, 203	△285	△238	△283	△119. 13

# (2) 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	36, 000	120	200	30	12. 49
今回修正予想(B)	35, 000	470	600	300	124. 82
増減額(B-A)	△1,000	350	400	270	
増減率(%)	△2.8	291. 7	200. 0	900. 0	
(ご参考) 前期実績 (2023 年 3 月期)	38, 654	238	258	△158	△66. 21

## (3) 2024年3月期第2四半期(累計)個別業績予想と実績との差異(2023年4月1日~2023年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	9,000	△50	△50	△20. 91
実績値(B)	9, 596	384	633	263. 53
増減額(B-A)	596	434	683	
増減率(%)	6.6	_	_	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2023 年 3 月期第 2 四半期)	7, 047	△104	△72	△30. 49

#### (4) 2024年3月期通期個別業績予想数値の修正(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17, 000	50	50	20. 91
今回修正予想 (B)	19,000	700	300	124. 82
増減額(B-A)	2,000	650	250	
増減率(%)	11.8	_	500.0	
(ご参考) 前期実績 (2023 年 3 月期)	15, 159	125	132	55. 47

# 2. 修正の理由

## (1) 第2四半期(累計)期間連結業績予想および個別業績予想の実績との差異理由

本年 5 月の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け引き下げ後、外食・旅行などサービス消費の増加に加えてインバウンド需要の回復を背景に、外出・トラベル関連商材の需要が増え、服飾雑貨事業セグメントの売り上げが好調に推移したことを主因に、売上高は当初予想を上回る結果となりました。

利益面につきましては、売上総利益の増加に加えて、減収となったセグメントにおける販売費の抑制やグループ基幹システムに係る保守費用削減を進めたことなど、販管費が減少したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に係る四半期純利益(個別は四半期純利益)は当初予想を上回る結果となりました。

# (2) 通期連結業績予想および個別業績予想の修正理由

第2四半期(累計)期間まで堅調に推移した外出・トラベル需要は第3四半期以降一段落すると見込んでいること、欧州の景気低迷や巣ごもり需要収束の影響が想定以上に見込まれること、ブランド販売子会社での事業再編が途上にあることなどから、通期連結業績予想および通期個別業績予想を修正しております。

この結果、売上高につきましては、当初予想からの減少を見込んでおります。

利益面につきましては、第3四半期以降の事業環境予測から、売上高同様、利益も伸び悩みますが、通期の営業利益、経常利益、親会社株主に係る四半期純利益(個別は四半期純利益)は当初予想からの増加を見込んでおります。

なお、本日別途「連結子会社の解散および清算ならびに当該連結子会社に対する債権放棄および特別損失計上に関するお知らせ」を公表しておりますが、当該お知らせに記載のとおり、本件による連結業績への影響は軽微と見込んでおります。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な要因により 実際の業績は異なる結果となることがあります。